

福島第一原子力発電所の状況

2016年1月25日
東京電力株式会社

< 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (1/25 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	給水系：約2.6 m ³ /h	15.4	0.63 kPa g	A系： 0.04 vol %
		炉心スプレイ系：約1.9 m ³ /h			B系： 0.00 vol %
2号機	淡水 注入中	給水系：約1.9 m ³ /h	20.2	3.56 kPa g	A系： 0.03 vol %
		炉心スプレイ系：約2.4 m ³ /h			B系： 0.02 vol %
3号機	淡水 注入中	給水系：約2.0 m ³ /h	18.6	0.23 kPa g	A系： 0.06 vol %
		炉心スプレイ系：約2.3 m ³ /h			B系： 0.06 vol %

< 2. 使用済燃料プール(SFP)の状況 > (1/25 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	SFP 水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	10.5
2号機	循環冷却システム	運転中	27.8
3号機	循環冷却システム	運転中	17.8
4号機	循環冷却システム	運転中	6.5

各号機 SFP および原子炉ウェルヘヒドラジンの注入を適宜実施。

< 3. 水処理設備および貯蔵設備の状況 > (1/25 11:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)	多核種 除去設備 (ALPS)	増設多核種 除去設備	高性能多 核種 除去設備
運転 状況	停止中 ^{*1}	運転中 ^{*1}	水バランスを みて断続運転	水バランスを みて断続運転	ホット 試験中 ^{*2}	ホット 試験中 ^{*2}	ホット 試験中 ^{*2}

*1 フィルタの洗浄、ベッセル交換を適宜実施。 *2 高性能容器(HIC)交換等を適宜実施。

< 4. その他 >

・2014/6/2～ 陸側遮水壁工事を開始。

2015/4/30 12:00～ ブライン(不凍液)循環設備の健全性や地下水の流れによる影響等の確認のため1～4号機建屋の山側(18箇所)を対象に試験凍結を開始。

・2015/5/27～ 構内で今後使用しないフランジボルト締めタイプのRO濃縮水貯槽の解体作業を開始。

・2016/1/21～ H4エリアにおいてフランジ型タンクの解体を開始。

・セシウム吸着塔一時保管施設第二施設に保管されている HIC について、前回報告以降も順次調査を継続していたが、その中で新たに吸水ブロックに水が染み込んでいる HIC は確認されず。

HIC ベント孔が貫通していない HIC が確認された件で、第二施設内の他の HIC についてもベント孔の貫通確認を実施していたが、当該施設に保管されている全 HIC の確認を終了。その結果、1基でベント孔に一部未貫通があることを確認したが、必要最低数以上のベント孔の貫通が確認されていることから、可燃性ガスの濃度が燃焼限界以下に維持されることを確認。

セシウム吸着塔一時保管施設第三施設に保管されている HIC について、1/21 時点で 428 基を調査したが、新たにたまり水および吸水ブロックに水が染み込んでいる HIC、ベント孔が貫通していない HIC は確認されず。

なお、現在までの各施設における、たまり水および吸水ブロックに水の染み込みが確認された HIC の基数は、セシウム吸着塔一時保管施設第二施設で 34 基、第三施設で 2 基。引き続き原因調査、HIC の調査を実施する。

【1号機原子炉建屋カバー解体作業】

1号機原子炉建屋カバー（以下、建屋カバー）解体作業を開始。

- ・2015/5/15 6:45～5/20 13:11 建屋カバー屋根パネルからの飛散防止剤の散布作業を実施。当該作業期間中において、ダストモニタおよびモニタリングポストの値に有意な変動なし。
7/17 7:06～7/21 9:10 建屋カバー屋根パネル貫通孔からの飛散防止剤の散布作業が終了。
- 7/28 建屋カバー屋根パネルの取り外し作業を開始。10/5 に全ての屋根パネルの取り外しが完了。
- ・2016/1/8～ 支障鉄骨の解体作業を開始。

【サブドレン他水処理施設の状況】

・2015/9/3 サブドレン他水処理施設運用開始。

9/17～サブドレン他水処理施設による地下水のくみ上げについて、昼間のみの間欠運転から24時間連続運転に切り替え実施。

- ・一時貯水タンクCの当社および第三者機関による分析結果[採取日2016/1/13]は、同等の値であり、共に運用目標値を満足していることを確認したことから、1/22 10:01～16:08 排水を実施。排水量は874m³。
- ・一時貯水タンクDの当社および第三者機関による分析結果[採取日2016/1/15]は、同等の値であり、共に運用目標値を満足していることを確認したことから、1/23 9:57～15:54 排水を実施。排水量は850m³。
- ・一時貯水タンクEの当社および第三者機関による分析結果[採取日2016/1/17]は、同等の値であり、共に運用目標値を満足していることを確認したことから、1/25 10:19～ 排水を開始。

【地下水バイパスの状況】

・地下水バイパス揚水井 No.1～12 のサンプリングを継続実施中。

【1～3号機放水路の状況】

1～3号機放水路については、1号機放水路上流側立坑および2号機放水路立坑において、セシウム137の濃度が上昇したことから定期的に水質調査を実施。

<最新のサンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【構内側溝に敷設されている耐圧ホースからの漏えいについて】

<K排水路排水口のサンプリング実績>

- ・分析結果については前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【H4、H6エリアタンク周辺観測孔(周辺排水路含む)の状況、タンクパトロール結果関連】

<H4・H6エリア周辺、福島第一構内排水路・南放水口のサンプリング実績>

- ・分析結果については前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【タービン建屋東側の地下水調査/対策工事の実施状況】

<地下水観測孔・海水サンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績】

<地下貯水槽サンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

以上